

## CISPR F 小委員会 第2作業班(WG2) 国際会議審議結果(2021/7/7)

日時	2021年7月7日(金) 09:00 - 12:30、14:00 - 17:30 (CET)		
場所	WEB		
日本出席者 (50音順、 敬称略)	高岡(パナソニック)	報告者	高岡 (パナソニック)
全体の出席者	WG2コンビナ: Peter Archer氏(イギリス)、(その他、日本以外に、蘭、独、米、中国、オーストラリア等から11名参加。)		
【ポイント】			
1. CISPR15 A1の第1次CD文書(F/801/CD)に対するコメント審議(←F/803A/CCを発行済み)			
2. 次回会議: TR30-3関連; 2021年9月、CISPR15 A1関連; 2021年11月			

審議項目	審議文書	審議結果
1. 開会		
1.1 IEC IPC ポリシーの言及と IPR 周知	ISO/IEC DIR 1 + IEC SUP:2020	説明が行われた。
2. アジェンダの承認	CISPR/F/WG2(Secr)21-01A	特段の意見無く承認。
3. 一般事項説明		
3.1 WG2 メンバーリストの言及.	IEC Expert management System	新規参加メンバーなし
4. 2020年 WEB 会議議事録の承認	CISPR_F_WG2(Secr)20_02_RM_Zoom meeting_2020_draft_minutes 31_03_2020	説明が行われた。
5. CISPR15 の改定 (A1)		
5.1 質問文書に関するコメントの確認	CIS/F/766A/RQ	F/764/Q に対する各国コメントと、その事務局回答が報告され、CISPR15 改定項目に追加された内容の説明があった。
5.2 レビューレポートの説明	CIS/F/800/RR	本レビューレポートにより、CISPR15 第9版の改正1の活動が正式にスタートしたことが報告された。各ステージの目標期限は下記のとおり CD:2021/3/22 CDV:2023/3/1 FDIS:2023/12/1 IS:2024/3/22

審議項目	審議文書	審議結果
5.3 第1次 CD 文書の発行	CIS/F/801/CD	第1次 CD 文書が、2021年3月19日に発行され、各国 NC の投票締め切りが6月11日と設定されたことが報告された。
5.4 第1次 CD 文書に対する各国 NC コメントに対する事務局回答の審議	CC_CIS_F_801_CD_draft Obs_30062021	各国 NC より提出されたコメントに対する審議が、各コメントのグループ毎に実施された。  この内容をもとに 2nd CD が作成されることとなった（期限：2022年3月）
トピック 1 安定化時間	非放電灯に対する、測定前の安定化時間に関する審議（放電灯は15分と規定されている）	第9版では設定されていない、非放電灯に対する試験前の安定化時間が1分間と規定することが確認された。
トピック 2 円錐型ハウジングの設置	①円錐型ハウジングのどのポイントで RGP との離隔距離（40cm）を確保するかによる浮遊容量が、どの程度測定に影響を及ぼすか？ ②円錐型ハウジングの設置方向による、電球の特性悪化による測定結果の影響	①小 TF を結成して、影響に関する調査を実施する（リーダー：Wijntjens 氏：蘭、期限：2022/2） ②放電灯での設置方向による発熱により測定結果に影響を及ぼすことが確認されたが、円錐型ハウジングは放熱に関しても問題となる構造ではないため、CD 文書での提案通り、円錐型ハウジングの開口面は RGP と反対方向とすることが確認された
トピック 3 電圧範囲	AC100V～240V というように、100V 系・200V 系をまたぐ定格電圧範囲を持つ製品に対する、測定電圧に関する審議（第1次 CD 文書では、100V 系、200V 系いずれかの代表定格電圧で測定するとされていた）	100V 系、200V 系両方の代表定格電圧にて測定を実施することが確認された。  測定を行う電圧には、±2%の公差を設けることが確認された。
トピック 4 無線通信モジュール	無線通信機能は CISPR の対象外とすることに関する審議	CISPR/1432/INF で発行されている通り、無線通信機能については、CISPR の対象外とすることが確認された。
トピック 5	1GHz 以上の放射妨害波測定について、“ク	先行している CISPR14-1 では、“クロック周波数”

審議項目	審議文書	審議結果
クロック周波数	ロック周波数”により測定上限周波数を決定するとされているが、“内部周波数”で規定されるべき。という提案に対する審議	を採用しており、CIS/F としての整合を図るため、“クロック周波数”とすることが確認された。 また、“クロック周波数”が明記されていない製品については、上限の 6GHz で測定をじっしすることが確認された。
トピック 6 1GHz 以上の放射妨害波測定	①CD 文書では、CISPR32:2015 の測定法&許容値を参照しているが、CISPR32 は 2019 年に A1 が発行されている。最新版の CISPR32 と整合を図るべきという提案に対する審議 ②CD 文書では測定距離は 3m しか明示されていないが、EUT サイズの問題もあり、その他の測定距離も規定すべきとの提案に対する審議	①先行している CISPR14-1 では、CISPR32:2015 を参照して、測定法&許容値を規定しており、CIS/F としての整合を図るため、CS 文書通りとすることが確認された。 ②IEC61000-6-3:2020 を参照して、測定距離を 1m, 3m, 5m, 10m を選択することができることが確認された
トピック 7 ネットワークインターフェース	ネットワークインターフェースの妨害波測定を実施するための AAN に関する記述は CISPR16-2-1 で規定されていることであり、CISPR15 では削除することが適当であるとの提案に対する審議	提案が採用され、AAN の使用に関する説明が削除されることが確認された。
トピック 8 米国の地域限定規定	米国の地域限定規定として、Consumer 及び non-Consumer 向けの製品に対して、CISPR32 で規定されている Class A or Class B の許容値を提案していることに対する審議	CISPR32 で規定されている Class A or Class B は、米国が提案している Consumer or non-Consumer と適用対象が異なることの説明を追記し、許容値としては同じものを利用する旨の記述とすることを確認した。
トピック 9 放射磁界測定	①Small loop antenna 測定での EUT の大きさの制限に関する審議 ②Small loop antenna の表現及び、設置高さの基準点に関する審議	①修正第 2 版において審議を行うことが確認された ② “Small antenna” ⇒ “Small loop antenna” とし、設置高さについては、アンテナの下端：1.0m としていたものを、アンテナの中央：1.3m と変更することを確認した。
トピック 10	①電源線と通信線等が近接している場合の	①EUT 側及び AAN 側の配線

審議項目	審議文書	審議結果
AMN - EUT の配置	<p>配線処理に関する審議</p> <p>②EUT－AMN の離隔距離：80cm の EUT 側の起点に関する審議</p>	<p>の距離規定を変更することを確認した（10±5cm、20±5cm ⇒ &gt;15cm、&gt;25cm）</p> <p>②内蔵モジュール、電球そのものが離隔距離 80cm の起点となっていたが、収納する外郭端を起点とすることを確認した。</p>
トピック 11 LLAS の測定配置	<p>①LLAS による放射磁界測定時、1 m<sup>2</sup>ループを作成後の余長処理に関する審議</p> <p>②LLAS 測定配置図において、電源線及び AE 機器の記述がないことに関する審議</p>	<p>①余長処理についての記述を追加し、併せて図示することも確認した。</p> <p>②電源線及び AE がある場合について図示することを確認した。</p>
6. CISPR15 第 9 版に対する潜在的メンテナンス項目	<p>放射妨害波測定時、電源線に CDNE を接続し、その CDNE を設置することが規定されているが、FAR での測定においては容易に設置接続ができないことに関する審議</p>	<p>CISPR/A/JAHG6 で、この課題について審議中で、この結論を待って、修正第 2 版での審議を行う。</p>
7. CISPR TR30-3 に関して Zhaga のアプローチ		<p>Zhaga による取り組みを簡単に報告され、検討内容について、8 月末に配布される予定であると紹介された。</p> <p>CISPR TR 30-3 の審議について、9 月末での開催日程の調整が行われている。</p>
8. その他		<p>ITU のリエゾン報告（分解能幅に関する問題）が紹介され、この内容については CIS/F 内での審議が未完了であることが報告された。</p>
9. 本会議の結論とアクションアイテム		<p>今回の会議における決定事項、次回会議に向けた実施項目が下記のように確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンス項目のアップデートを実施する：コンビナ</li> <li>・5.4 トピック 2 の円錐型ハウジングと RGP 間の浮遊容量の影響について、小 TF を結成して調査</li> </ul>

審議項目	審議文書	審議結果
		<p>を実施する：Wijntjens 氏：蘭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CC 文書に事務局コメントを加えたものを C0 に送付：コンビナ</li> <li>・ 第 2 回 CD 文書の作成：コンビナ</li> <li>・ CISPR TR 30-3 の審議を実施するための日程調整：コンビナ</li> <li>・ 11 月末に WG2 会議を実施するための日程調整：コンビナ</li> </ul>
10. 次回会議		<p>9 月に TR-30-3 関連を、11 月に CISPR15 A1 に関する会議を WEB にて実施することが確認され、事務局より日程調整が行われる。</p>
11. 閉会		